

平成29年度「学位記授与式」における理事長あいさつ

平成30年3月17日（土）10:00～

本日、平成29年度学位記授与式が挙行される、この良き日にあたり、公立大学法人富山県立大学を代表いたしまして、お祝いの言葉を申し上げます。

卒業生の皆様、ご卒業、おめでとうございます。大学院修了者の皆様、修了おめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。

また、卒業生ならびに修了生の学業や生活を支えていただきました、ご家族の皆様をはじめ、関係者の皆様にも、お祝いを申し上げますとともに、これまで、富山県立大学に対しまして、ご理解とご協力を賜りましたことに、厚く感謝を申し上げます。

また、本日は、富山県知事代理として山崎副知事様、県議会の稗苗議長様はじめ県議会議員の皆様、射水市長様、議長様、研究協力会の杉野会長様をはじめ、多くのご来賓の皆様にご臨席を賜りました。心からお礼申し上げます。

本学は、平成2年に工学系公立大学として開学し、平成27年に公立大学法人となりましたが、これを機に6年間の中期計画を立て、これまでの実績をベースに3つの目標を掲げました。

1つ目は学生を大きく伸ばす教育力の高い大学、2つ目は未来を志向した高度な研究を推進する大学、3つ目は広く開かれ地域に貢献する大学を目指すこととし、教職員一丸となって取り組んでおります。

法人化にあたっては、県立の大学として、産業社会から求められる人材の育成と、若者の定着に一層貢献していくため、工学部の入学定員を100名増員する拡充計画を立て、昨年4月に工学部としては全国初の医薬品工学科を新設するなど、学科の拡充新設を積極的に進めております。

さらに、質の高い看護人材の確保と女性の県内定着を図るため、平成31年4月に看護学部を開設することとし、近く文部科学省に認可申請を行うなど、準備を進めております。

皆さんが入学された時の入学定員は230名でしたが、昨年4月には330名になり、さらに来年4月に看護学部ができれば450名と、これまでの約2倍の規模になります。

こうした学生の増加に対応するため、大学としては、優秀な教員を確保して大幅に増やすとともに、9階建ての新校舎を建設するなど、キャンパスの拡充整備を進めております。

このように富山県立大学は、より魅力ある大学を目指しておりますが、卒業生の皆様には、ここで学んだことを誇りとし、これからも母校への愛着を持って、県立大学がさらに発展するようご支援いただければ幸いに存じます。

今日は皆様一人ひとりにとって人生の節目の日であります。今日までの勉学や仲間との交流など、様々な体験を通じて、社会人として必要な基礎的な力をしっかり身に付けられたものと思います。

ぜひ自分に自信を持って、4月からの新たなスタートを切っていただきたいと思います。

そしてさらに研鑽に励み、自分の長所を伸ばし、短所を克服して、今後の人生を切り拓き、立派に成功していただきたいと願っております。

改めまして、卒業生の皆様の大いなる前途を祝福し、ご参集のすべての皆様方のご健勝ご多幸を祈念いたしまして、私のお祝いと、はなむけの言葉といたします。

平成30年3月17日 公立大学法人富山県立大学 理事長 寺井 幹男

本日は、誠におめでとうございます。